

令和6年能登半島地震 石川県へ2市1町による支援を行います

古賀市は福津市及び岡垣町と連携し、令和6年能登半島地震の被災地支援のため、1月9日に石川県に食料やアルミ製ブランケットなどの支援を行います。
古賀市は1月4日の飲料水に続く物資支援（2回目）となります。

・支援内容 :

【福津市】 飲料水 4800本 : 500ml×24本×200箱

【岡垣町】 飲料水 5472本 : 500ml×24本×228箱

【古賀市】 簡易トイレや食料、アルミ製ブランケットなど（市備蓄品）

（内訳）簡易トイレ 23個、排便処理セット 6300個、携帯トイレ 800個

トイレ用テント 18個

アレルギー対応ご飯 7450個、レトルトパン 5750個、ビスコ 2030個

カロリーメイト 780個、ライスクッキー240個、乾パン 96個

アルミ製ブランケット 860枚

乳幼児用おむつ計 3886枚、大人用おむつ計 680枚、おしりふき 15個

生理用品 1072枚、尿取りパッド 292枚

・配 送 : 西福運送株式会社（古賀市青柳町）

※古賀市と救援物資の配送等に関する防災協定を締結

・配 送 先 : 石川県産業展示館（石川県金沢市）

※奥能登4市町の緊急物資受け入れ先

・支援日程 : 1月9日（火）2市1町の支援物資をトラックに積み込み後に出発

・支援の経緯:

福津市と岡垣町との広域連携による今回の物資供給支援は、1月5日（金）に両首長から連携支援の意向が古賀市長に寄せられたことを受けて、本市が中心となり石川県小松市（*）に意向を伝え支援を依頼されました。

また、古賀市と防災協定を締結している西福運送株式会社からは、有事であるため無償で協力するとの申し出があっており、2市1町の支援物資の搬送を行っていただきます。

発災直後のさまざまな態勢が整わない中で、自治体が平時からの連携を生かし、プッシュ型で支援することが重要であり、こうした支え合いが、ひいては市民生活を守ることにつながると考えています。

*能登半島地震の初動で、全国の首長有志でつくる「活力ある地方を創る首長の会」(会長＝田中幹夫・富山県南砺市長、会員約 270 人、古賀市長は事務局長) のメンバーでもある石川県小松市の宮橋勝栄市長が自らの市も被災しながら、能登半島の被災自治体との橋渡し役を担われています。1 月 4 日に行った飲料水支援(古賀市)に引き続き、今回も小松市にその意向を伝え支援につなげています。

・連携自治体担当者

福津市役所(防災安全課) 担当：栴村 電話：0940-43-8107

岡垣町役場(地域づくり課) 担当：波多野 電話：093-282-1211(代)

○写真が必要な場合は、古賀市役所 総務課へご一報お願いします。

【問い合わせ先】古賀市役所

支援調整担当) 福祉課福祉相談係 担当：澤木、吉武 電話：092-942-1150

支援物資担当) 総務課危機管理係 担当：星野、江野 電話：092-942-1112